

## 答辞

まもなく春の花が生き生きと咲き始める今日の佳き日に、このように厳かで暖かな卒業式を挙行していただき、まことにありがとうございます。

ご来賓の皆様、保護者の皆様、教職員の皆様には、今日まで多大なるご尽力をいただき、卒業生を代表して心より感謝申し上げます。

三年前、私たちは、小山台高校の門をくぐりました。78期のみんなど出会えた入学式は、私たちにとって忘れることのできない始まりの一日でした。素晴らしいブラスバンド班の演奏とともに入場したあの時の感動を鮮明に覚えています。シンボルの八角塔、光庭、生徒ホール、そして小山台会館といった小山台高校ならではの言葉が、この先どれほどの時間が流れれば、懐かしい言葉へと変わるのでしょうか？

かけがえのない時間はいつも過ぎてからその大切さに気づきます。振り返れば、すべての一日が今日へと続く道でした。そして、今日はもうみんなと過ごす最後の日になってしまうなんて本当に寂しいです。入学前、小山台生はまじめでやさしい生徒だというイメージがありました。思っていた通りの人が集まりましたね。困っていることがあれば誰かが必ず助けしてくれる、勉強も教えあえる、そして、たわいもない会話が楽しくて、一緒にいるだけで楽しくて、そんな学校生活にしてくれたやさしいみんなに出会えて、私は幸せでした。

みんなが同級生でよかったと思える瞬間は数え切れません。本当にありがとう。小山台高校の高度な授業や日々の小テスト、勉強合宿などが、目標の進路につながるすばらしい学習環境でした。電車車内や駅のホームで古文単語やターゲットを握りしめているのはきまって小山台生でした。受験生になってからは図書館や4階の廊下の机で真剣に勉強をしている仲間の姿を見ていると、自分も頑張ろうと勇気づけられました。

合唱コンクールの舞台上で響いた歌声は、私たちが歩んできた日々の集大成でした。幾度となく重ねた練習と仲間を信じる心が1つになった瞬間、音楽はただの旋律ではなく、私たちの思いそのものとなって会場に響きました。3年間歌い続けた校歌、その歌詞の通り小山台高校は本当に心のふるさととなりました。私たちはこれから希望の光を追い続け、敬愛の花をたくさん咲かせ、高き理想へと進んでいきます。

運動会では全力で戦う仲間を一丸となって応援する光景が印象的でした。勝敗に関係なく競技を終えた仲間を迎える姿は小山台高校らしい団結力だと感じられました。班活動は誰にでも胸の奥で輝いている大切な思い出があると思います。運動班も文化班も限られた時間の中で妥協せず全力で活動できた時間は宝物です。

生徒会活動では新たな企画、運営に取り組みました。みんなの思いを1つの形にしてゆくやりがいを知り、募金活動では社会にはたらきかける力と誰かの支えにつながる喜びを学びました。小山台高校の勉強、行事、班活動や生徒会活動すべてに全力を尽くす文武両道は時に困難にぶつかることもありました。けれども困難は成長できるチャンスだと信じ逃げずに仲間と乗り越えてきました。

私たちだけでは答えを見いだせない時には、先生方はいつも正しい道に導いて下さいました。そして今私たちはすべてを努力で乗り越え自信に変え成長しました。先生方のご指導のおかげです。いつも私たちの学校生活を見守り、励まし、寄り添って下さいました。共通テスト当日は試験場の門にいて下さり全力で応援して送り出して下さいました。緊張で心細いなか、教室で先生方からいただいたメッセージ入りのチョコレートを見たときは、先生方が私たちを思って下さる温かい気持ちに胸がいっぱいになりました。先生方、本当にありがとうございます。先生方のことも決して忘れません。

保護者の皆様は、どんな時も私たちの味方でいてくれて、安心できる存在でした。安心できる場所があったから私たちはたくさんの挑戦ができました。日々の学校生活はもちろん、班活動の試合や受験など必死に応援してくれて心強かったです。また、いつも楽しそうにお弁当をつくってくれる姿が私は大好きでした。ありがとう。

私は小山台高校で学ぶことの意味を問い続けてきました。それは成績や進学のためだけでなく、学んだことをどのように生かし、社会に貢献していくかという視点です。社会には多くの課題があり、それらに向き合うためには知識だけではなく、他者を思いやる心、そして行動する勇気や実行力が必要です。これからの未来を私たちにまかせて下さいと数年後必ず胸をはって言えるような社会人になり皆さまからいただいた温かい心を社会に還元し、貢献をしたいと思います。

今後目まぐるしいスピードで社会は変化し続けると思います。そんな社会にあっても私たちは生き抜いていく自信があります。小山台高校で夢をあきらめない精神と敬愛・自主・力行の精神が心に根付いたからです。

明日から私たちはそれぞれ異なる道へと進んでいきます。まもなく咲く今年の桜は一緒に見るのがもうできないけれど、新しい環境で新しい仲間と見ているかもしれないけれど、自信を持って頑張っていこうね。

在校生のみなさん、先輩として伝えたいことがあります。なんでもない日常がかけがえのない時間になる時がきます。仲間と大切に今を過ごして下さい。小山台高校には、頼れる先生方がいらっしゃいます。自分らしい未来を一緒に見つけて下さい。

最後に私たち78期は、それぞれの場所で未来を支える存在へと成長してゆくことをここに誓います。そして、これまで私たちを支えて下さったすべての方々へ感謝いたします。

母校小山台高校の更なる発展と在校生のみなさんの活躍を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和八年三月十四日

卒業生代表

(11分30秒)